

第3期士別市人づくり・まちづくり推進計画案 に対するパブリックコメント実施結果

第3期士別市人づくり・まちづくり推進計画案について、士別市パブリックコメント制度実施要綱に基づき市民意見を募集したところ、1名の方からご意見をいただきました。寄せられたご意見の内容及びご意見に対する市（行政）としての考え方を次のとおり公表します。

実施状況

- (1) 募集期間 令和8年1月20日(火)～令和8年2月19日(木)
- (2) 意見提出者数 1名
- (3) 提出方法 WEB入力
- (4) 担当部署 教育委員会社会教育課

No.	寄せられた意見	市の考え方
1	文化施設のあり方の検討について、一流の舞台芸術・音楽芸術に触れられる環境を確保するためにも、市民文化センター大ホールを改修せずにそのまま使用することができないでしょうか。創作創造活動の推進、自主企画事業の推進を実現するために、文化事業予算の拡充を望みます。	市民文化センター大ホールにつきましては築60年経過し、現在の耐震化基準を満たしていない建築物であることから、安全面を考慮し、今後、5年以内にあさひサンライズホールとの統合を検討しているところです。 市民の創作活動や自主企画事業の推進に当たりましては市民が主体的に活動できるよう限られた財源を最大限の効果が発揮できるよう努めてまいります。
2	人口8000人のまちの文化のビジョンを具体的に示してください。子どもたちの未来のために、「教育行政と文化行政」をつくりあげてください。	文化振興ビジョンにつきましては、令和8年度中に作成する予定です。 また、教育大綱に基づいて学びフォーカスを作成し、教育を推進しています。
3	日向神代神楽は伝統的な郷土芸能です。日向神代神楽保存会は2025年に札幌支部を立ち上げたことから、士別の歴史と文化を広げる関係人口づくりに寄与している一方、着物がかなり痛み買い替える資金がありません。市として「ふるさと教育」としっかり位置付け、国や道の補助金を活用しながら予算を拡充してください。	日向神代神楽保存会は、2月に第2回の公演を行うなど伝統的な郷土芸能の保存、継承に取り組まれていると認識しています。文化継承の視点からも、民間団体等による助成制度の情報提供など引き続き支援をしてまいります。

4	<p>表現力を高め、想像力を育むため、家庭や地域、図書館、学校などあらゆる場面で、読書に親しむ活動をすすめる予算を拡充してください。</p> <p>2月8日に開催された「士別市読書環境醸成フォーラム」で得た財産を市民全体で共有し、読書活動促進のための多彩なアイデアを活かし、まちづくりのために具体化してほしいと願っています。</p>	<p>市民の読書活動を推進するために、図書館、学校、地域が連携するとともに民間活力の導入など官民連携の活動を推進するとともに、本市の財政状況を鑑み、限られた予算を最大限の効果が発揮できるよう努めてまいります。</p>
5	<p>私はアイヌ民族の歴史と文化、士別の自然と郷土史に大変興味があり、学芸員のおかげだと思っています。寄付していただいた故和泉雅子氏の思いも引継ぎ、博物館の予算拡充を求めます。</p> <p>混沌とした未来が不透明な現代だからこそ、コミュニティ中心の文化の重要性、博物館と図書館を「知的あそびの拠点」として市民の利用を呼び込む手立てと工夫が必要だと思っています。</p>	<p>博物館につきましては、常勤する学芸員や特別学芸員の趣向の凝らした講座や各種事業の開催により利用者も増加傾向にあります。今後におきましても本市の財政状況により限られた予算での開催となりますが、魅力ある博物館となるよう事業内容の充実に努めてまいります。</p> <p>また、図書館につきましても市民の知的好奇心を大切にしたい事業展開ができるよう効果的な事業運営に努めてまいります。</p>
6	<p>高齢者や障がい者が文化的な活動に参加できる公共交通機関のあり方と一体で方策が求められています。</p> <p>地区公民館講座について、地区循環の車移動、予算の関係から人数制限があると参加自体を遠慮してしまいます。</p> <p>社会教育の視点から公民館の原点の問い直しが必要かもしれません。公民館は「教える・学ぶ」だけでなく、「つながる・支える・つくる」場として、地域コミュニティの拠点であると考えています。</p> <p>たとえば、多寄地区内に気軽に歩いて行ける常設の文化展スペースやおしゃべり場などの交流拠点があれば、まちづくりと異世代交流や関係人口づくりが広がると思います。</p>	<p>今後も地域の実態に合わせて、可能な限り希望者が公民館講座に参加できる体制づくりに努めてまいります。</p> <p>また、地区公民館を核とした地域コミュニティの拠点として地域の実態に合わせた文化作品の展示や地域住民の交流など引き続き支援するよう努めてまいります。</p>

7	<p>これまでのみよし市・川内村との交流の積み重ねがありますので、オンラインではなく、子どもたちが直接見て感じる交流活動を進めて欲しいです。財政的な課題があるのであれば、希望制にして個人負担など柔軟に考えてもいいのではないのでしょうか。</p> <p>可能であれば、市民活動を活発に行っている先進事例を視察するための大人の社会見学など、まちづくりに活かす企画を考えてもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>川内村の受入については今後も継続して参ります。みよし市との交流については、これまで特定の学年の児童が短期間の交流活動を行ってきましたが、今後は幅広い学年の児童が年間を通じて交流できるオンラインの活用を実施してまいります。</p> <p>また、先進事例の視察については、社会教育委員や社会教育士の研修の機会を確保し、今後のまちづくりに活かす活動の推進をすすめてまいります。</p>
8	<p>市民の自発的な地域づくり活動を広めるため、社会教育主事や社会教育士、公民館主事、学芸員、図書館司書など専門的なみなさんとのネットワーク構築の具体化が求められています。</p> <p>「市民が主人公」として誰もが参加できる豊かなまちづくりを実現するために、市民みんなで知恵を出し合いたいと思います。</p>	<p>令和8年度から社会教育士のスキルアップ及びネットワーク推進事業を実施し、官民連携したまちづくりの実現に向けて調査研究を進めてまいります。</p>
9	<p>現在、旧多寄中学校の生徒会室を多寄の郷土資料の保管・収納として活用しています。土別東高等学校が旧多寄中学校へ移転する計画があることから、郷土資料の新たな収納場所を模索しているところです。</p> <p>土別市構造改善センターを解体するまでの間、無償で提供していただきたいと思います。</p>	<p>土別東高等学校の移転計画に伴って、現在管理されている郷土資料の新たな収納場所についてのご意見ですが、今後において、引き続き学校施設を利用することが可能かを含め、学校、関係機関と継続して協議してまいります。</p>